

軽井沢での 65 期テニス愛好家の集い

布施修一郎(6組)

還暦祝いの同期会後に誕生した 65 期テニスの集いは、少なくとも古希までは続けようと毎年 4 月には埼玉県蕨市で、秋は軽井沢エクシブで行われ、無事古希までの 10 年間の集まりを達成してきました。古希を迎えても皆、元気なのでそのまま続行と決めていましたが、故障者が出たり、コロナ禍の為 4 年間のブランクを経て、10/7 の前夜祭、10/8 に 5 時間に渡ってのプレーを楽しみ、5 年ぶりにエクシブでの集いを再開しました。

今回の参加者は今までより減少し、関賢治(2組)、原田義則(3組)、内堀信、布施修一郎(6組)、佐藤徹郎(7組)、宮澤憲一(10組)、中山正光(11組)の 7 名と少数精鋭？となりました。いままでの前夜祭当日には飲食会の前にナイターテニスも行ってきましたが、流石に 2 日連続はキツイということで今回は行われませんでした。エクシブでの集いの楽しみは、テニスは勿論ですが、飲食会の場にもあります。中華による会は、丸テーブルを囲んでいる為か満遍なく全員と会話ができ、和気あいあいの中にも談論風発となりお酒が進む大変居心地の良い場となっております。この場には、内堀夫人も同席してくれました。



左から 宮澤、関(後ろ)、布施、中山、原田、内堀、佐藤

さて、肝心のテニスの方ですが、4ゲーム先取で午前中8セット、午後7セットの計15セットを、全員けがもなく消化しました。足腰の衰え、腰痛、脳梗塞の後遺症などの影響で技量力量は全体的に昔よりも落ちているものの、時々長いラリーや拍手ものの好プレーも見られました。中でもこの年になって以前より進化が見られたTS君や、数回の心臓手術、脳梗塞を繰り返し歩行時に足を引きずっている状態なのに、いざ、プレーになると往年の素晴らしいバックストロークを見せるMU君、今でも毎日のように練習し若者のような動きを見せるKS君には感心致しました。

来年は場所を変え熱海の初島エキシブで開催する予定です。



左から 原田、佐藤、内堀、宮澤、関、布施、中山



久々の勝利に喜ぶ原田、中山ペア

以上

2023年10月9日記